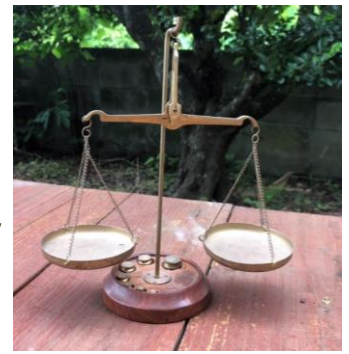


# (1) 中庸タイプ

中庸指標は俯瞰できる考え方ができることが最終目的になります。

- ①自我+行動+理性+やさしい
  - ②自我+理論+理性+やさしい
  - ③依存+行動+理性+やさしい
  - ④依存+理論+理性+やさしい
- 「理性」と「やさしさ」が共通
- 下位の説明は①～④のタイプの総合的回答になります。



ふかん

非常にバランスの取れたタイプ。物事を俯瞰して考えることができ、常に中立な立場にいることが多い。

**自我タイプがある方**はしっかりとした目標が定まっている場合はそれに向けて行動や企画することに長けている。自分中心になっていると思ったら他人のことを思いやることをしてください。

**依存タイプがある方**はタイプの方は利他主義、協調性があり、他人の意見を尊重し、目標に向かってサポートしていただけるタイプ。利他過ぎてしまったら自分の幸せを考えてください。

**行動** 行動しすぎた時はじっくり考える。

**理論** 考え過ぎた時は行動に移す。

感情を抑えることができる方である。

しかし、自分の存在が分からなくなったり、相手から八方美人と言われることもある。だから派閥には巻き込まれないタイプですが、はっきりしないということで孤立することがある。しっかりとした目的や目標をもつことでそれを解消することができるでしょう。常に中立な立場を保てるタイプですが、それが窮屈になったら、たまにははめを外してください。(感情的になっても良いということです)

**感情的**になる場合も人間はあります。喜怒哀楽は当たり前の感情です。

**理性的**になることは冷静さを保てること、ただ、合理的になり過ぎると相手から「冷たい人」と言われることもあるので人間味あふれる対応をしてください。頭で考え過ぎたら人間的感情を出すことも良いでしょう。

「強い」と「やさしい」の指標で少しやさし過ぎて相手に「バカにされる」、「いじめられる」、「焼きもちを焼かれ嫌がらせをされる」ことになることがある。**見えない刃**を示すことが重要です。「**依存**」人は相互依存という概念が重要です。甘えられることは、それはあなたの強さであり、あなたの志、アイデンティティでもあり、スキルでは特技などがあれば相手に信頼されるでしょう。それがあなたの武器であり魅力なのです。そして、「辛いこと」、「分からないこと」があれば、他者に相談すること、それは甘えることです。これが相互依存です。お互いに甘え、甘えられる存在こそが人間に必要な関係性なのです。

「**自我**」人は自分を持っている人は承認欲求が強くなる時は、意地を張らず素直な気持ちになることです。相談すること、甘えること。逆に相談にのることで、自我を癒します。

中庸的思想はマズローの欲求の承認(自我)欲求から自己実現の欲求へ進むステップである。自己実現に行くには一旦、0ベースになること、そして帰属(集団)する大切さを学ぶこと、それが自分を知ること、他人とは違うこと、そして俯瞰できる思考を手に入れることである。

このタイプは理想的なタイプとなります。